

真高寺だより

第10号 平成20年8月1日発行

発行所：真高寺（伊澤孝順住職）

住 所：市原市飯給1143

電 話：0436-96-0058

*発行責任者 根本 貞夫

*編集責任者 木村 孝一



洗心の風

総代会長

根本 貞夫

今年も大事な伝統行事であるお盆の季節を迎えました。厳しい暑さの中、久しぶりに真高寺を訪れました。山門正面の月舟宗胡の筆による扁額「第一義」を見上げ、そして大本山総持寺総門の仁王様と兄弟の仁王様のお許しを頂いて山門を潜ります。すると、不思議なことに、実に涼やかな一陣の風が吹き渡って来ました。これはあたかも浄土の風かと思われる涼風でした。庫裏の玄関を訪ねると、笑顔を絶やさない大黒さんが出迎えてくれ、実に真高寺はいつ来ても私たちに安らぎを与えてくれるお寺さんです。

ところで佐久間前会長は、真高寺にとって正に平成の一大事業でありました、山門改修事業を見事に完成させました。もとより、佐久間前会長に比肩すべくありませんが、今後とも、私を含む檀信徒の誰もが、気兼ねなく心の休まる真高寺であり続けたいと思っております。どうか引き続きご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

道元禅師のおことば

「^{にち にち}日^{せい めい}日の^{なお ざり}生命^をを^を等閑^にに^せせず

^{わたくし}私^{ついや}に^{ぎょう じ}費^ささ^ざら^んと^と行^持持^{する}する^{なり}なり」

おことばの意味

「一日一日のいのちをおろそかにせず、身勝手に扱わず、まごころこめて生活をしていくことが、豊かな私たちの生き方である。」

感謝状をお贈りいたします



永年に渡り寺役員としてご尽力されました8名の皆様に、15日の施食会に際し感謝状を贈ります。

佐久間常壽顧問、仲村正憲氏、木村弥氏、金巻利定氏、大沼次郎氏、故 篠田慎一郎氏、故 花澤博氏、故 丸幸雄氏の皆様です。ありがとうございました。

各檀家祖先名簿の調査にご協力ください

真高寺は幕末の戊辰戦争で、山門を残すだけで焼失してしまいました。各檀家の過去帳もそのとき一緒に焼失しました。その後、歴代の住職が自分流の過去帳を作って来ました。しかし、この過去帳は死亡年をベースにしているために、年忌を調べるのには適していますが、各家毎の整理に不備が多く見られ、誰がどこの家なのか分かりづらい内容となっています。そこで今回、内容を統一して分かりやすい過去帳を作ることと致しました。詳細な調査表は各檀家役員の皆様をお願いに伺いますが、次の事項を調査用紙にご記入の上、10月末日までにご提出下さい。

基本的には明治以降ですが、分かる人は江戸時代まででも結構です。調査項目は以下の5項目です。

戒名・俗名・没年月日・年齢・続柄

(全て分かる範囲で結構です)

なお、写真にもございますように、この調査に併せて、真高寺では新たに、過去帳位牌の導入をお勧めしております。現在のものは、8枚の薄い木札を納めた形で作られています。しかしこれですと僅かしか納められません。そこで新たに木札ではなく、紙製で、約100名分の戒名を記入できるものが作られました。お寺で実物を手にとって見て下さい。希望されます場合は、1万5千円で頒布しております。



写真右側は現在使用しているものです。
左側は新たに導入をお勧めしているものです。



今年の新盆家



(檀家)

(俗名)

(戒名)

篠田家	故・篠田新祐様	新山祐照居士
大沼家	故・大沼勝夫様	優岳勝運信士
小澤家	故・小澤たま様	慈徳温玉大姉
丸家	故・丸幸雄様	慈徳院穩幸覚道居士
花澤家	故・花澤博様	実成院養徳博文禅居士
河邊家	故・河邊登様	和観祥登居士
岡本家	故・根本光枝様	梅芳光覚信女
木村家	故・木村信正様	春信道貫信士
小澤家	故・小澤清様	厚徳勤清居士
鈴木家	故・鈴木義久様	律山義惇居士

(靈園)

(俗名)

(戒名)

金子家	故・金子きみ子様	明德君香大姉
木村家	故・木村さい様	慈寶院齋室妙賢大姉
梶原家	故・梶原正二様	公德院寿山正覚居士
安達家	故・安達尚久様	白天優尚信士
野口家	故・野口盾樹様	功貫盾徳清信士
渡邊家	故・渡邊政夫様	政巖法味信士
秋葉家	故・大沼かづ子様	賢実和静信女
水谷家	故・水谷広康様	穆山広徳信士



よろしくお願い致します

東飯給の金巻利定総代が、都合で退任されました。
後任には山門建設委員として活躍下さいました平野
達巳さんが就任いたしました。



今年の棚経は飯給です

恒例の檀家棚経回り、今年は地元の飯給です。今年から期日は14日（木曜日）となりました。当日は伊澤住職が各家の先祖供養の塔婆を持参して伺います。このため供養料として御布施をご用意しておいて下さい。（具体的には塔婆料として3千円です）

永代供養墓を計画しています

少子化傾向が続く中で、霊園内でお墓を維持できない方も見られるようになりました。「永代供養料を支払うから、供養して欲しい」とのご要望が現在でも7件ほど見られます。そこで約1000体を安置できる小伽藍をイメージした納骨壇を計画しました。規模は3メートル四方で高さは6メートルほどです。



特派布教行われる

米原の大通寺で6月19日（木）午後1時より、曹洞宗の布教を目的とした第16教区19カ寺合同（南総以南の19カ寺で、この内住職在住寺は17カ寺）の講習会が開催されました。今年の講習会は両本山の禅師の名代として、岐阜県洞雲寺住職の尾関幸憲師が見えられ、「愛語」をテーマにして、「我ら仏種を植えん」と題したお話しをされました。初めにビデオ映画が放映されましたが、昭和の初め天皇制を批判して大逆事件に連座したことで絞首刑となった内山愚童師の37年間の生涯を扱った内容です。このため愚童師は僧籍を剥奪されていましたが、93年4月13日、曹洞宗は83年ぶりに擯斥処分を取消し、愚童師の名誉を回復しました。貧しい人々の人権を守ろうとして活動した愚童師を立派な先達として再評価するとの内容でした。当日は各寺より役員を中心に、約100名の参加者があり、本堂は財布を忘れる人も出るほどの盛況でした。

一 緒 に ご 参 加 く だ さ い

平成20年度の第16教区護持会旅行が下記の通り実施されます。奥会津の芦の牧温泉に一泊し、曹洞宗の大雄寺を参拝する旅です。是非ご参加下さい。

期 日	20年10月27日（月）～28日（火）
募集人員	140名
旅行代金	32,000円
申込み方	9月30日までに代金を添えて真高寺まで

山内あれこれ

ありがとうございます



お陰様で一安心です

松本金蔵さんと水村石材の水村正信さんとで、5月7日の風雨で倒木となった霊園西側の杉を含め5本を伐採してくれました。台風時期を迎え、墓石への倒木の心配がありました。これで一安心です。

養老溪谷霊園に手桶10組

飯給の大沼光志様より、霊園墓参者用として10組の柄杓付の手桶が寄贈されました。霊園内に大沼家の墓石建立が出来たことを感謝してのご寄進です。



いい音です・・・



石塚の四倉弥一さんから寄贈された檜材で、立派な木板が出来上がりました。これは永平寺などでも見かけますが、禅宗のお寺では言葉で知らせるのではなく、取るべき行動の合図として木板を叩いて知らせるものです。重いですよ・・・。因みに文字は住職筆で、実に立派です！

たっぷり冷えます

柿木台の小澤平治様の奥様 小澤満佐子様より、先月、大型の冷蔵庫が寄贈されました。早速、檀信徒会館裏の炊事場に設置しました。これで法事や集会なども、大助かりです。



ありがとうございます、金巻さん、加藤さん



一年を通じて、参道両脇の季節の花壇を手入れされている、金巻いちさんと加藤美枝さんのお二人に大感謝です。既に咲いている夏の花だけではなく、秋から初冬に咲く菊が、沢山植え付けられていました。

一才時間が経ちましたが

今年の1月20日大本山総持寺の初詣と江ノ島の旅を実施しました。40名を超える方々に参加いただきました。総持寺名物の懐石膳を頂き、石原裕次郎のお墓にも回り、江ノ島水族館、江ノ島神社の美人弁才天にもお会いし、和気藹々の旅でした。



何と驚くなかれ65デシベルです

真高寺は今まで裏山の上にアンテナを立てて東京タワーからのアナログ電波を受信していましたが、良好な画像ではありませんでした。当然、今主流の地デジは東京に向けたアンテナでは駄目でした。ところがアンテナを反対の東に向けたら、美しい映像で映るのです。何と65デシベルです。これはNHKが大多喜に作ったアンテナからの電波をうまく受信できているためでした。因みにNHKに伺ったところ、加茂地域の難視聴解消のために、今年の12月を目途に月崎地域に電波塔を新設するとのことでした。12月からはアンテナを南に向けて下さい。



お盆に備えてさっぱりと



梅雨明けの7月20日と21日の両日、早朝より大沼克巳さんが植木の手入れに来てくれました。剪定鋏、鋸、ヘッジトリマーを駆使してすっかりきれいにしてくれました。ありがとうございます。